

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-89	小学校	社会科	社会	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 503	小学社会 5		

1. 編修の基本方針と特色

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（第二条の第1～5号）」と、学習指導要領に示された「教科目標」を達成し、社会科のねらいである「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して、以下の方針に基づいて編修しています。

目指す
社会像

◆持続可能な社会

人間が尊重される平和な社会／公正で公平な社会／多様性を尊重する社会／将来世代に配慮する社会／生態系に配慮する社会

目指す
子ども像

◆知識基盤社会において必要な幅広い知識と柔軟な思考力をもち、自ら問題を解決しながら、よりよく生きていこうとする子ども。

教科書
の特色

◆地域と国土のすがた，社会を成り立たせているしくみとその来歴を，そこに生きる人たちに共感しながら，確かにとらえることのできる教科書。

◆問題の解決に向けた主体的な追究や学び合いに効果的に活用することのできる教科書。

特色1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

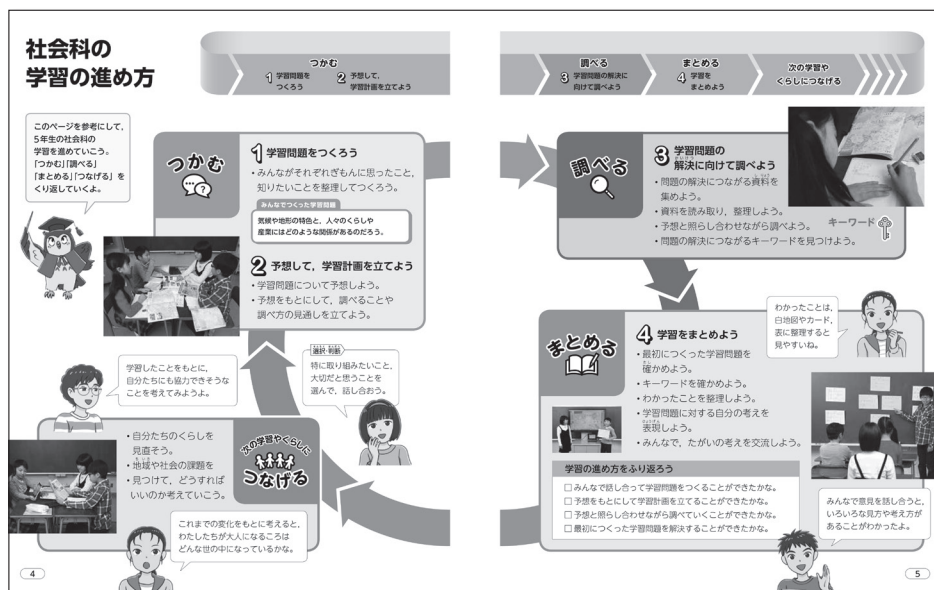
特色2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

特色3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

特色 1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

▶社会科の学習の進め方 (p.4)

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。そして、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくことを示唆しています。



- 身近な社会的事象との関わりの中から子どもたちが自ら問題を見だし、その解決に向けて考え合い、表現し合いながら主体的に追究していくことができる構成・展開にしています。
- 子どもが意欲を高めながら学習問題を追究していけるように、魅力的で価値のある導入教材を掲載しました。
- 追究の過程で子どもたちを適切に支援する技能や知識、設問などを配置し、より豊かで確実な学習成果に結びつけられるようにしました。

特色 2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

- 問題解決に向けた追究を進めていくうえで必要となる基礎的・基本的な知識や技能を明確にし、子ども自身がそれらを確認め、整理しながら身につけていけるようにしました。
- 必要な情報を集めたり、的確に読み取り解釈したり、効果的に表現したりする技能を、ステップ・アップを考慮しながらわかりやすく説明しています。
- 多様な表現活動を通して学んだことを共有化しながら、さらに思考を深めることができるようにしています。

特色 3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

- 文化財や文化遺産、先人の活躍に関わる内容を豊富に掲載し、それらを手がかりにして日本とその文化に対する理解を深め、愛情を育むことができるようにしました。
- 暮らしの改善や伝統的な文化の継承、持続可能な社会に向けて児童なりに選択・判断したり、地域や社会の「これからの発展」について考え合ったりする活動を通して、社会の変化に向き合い、主体的に参画していく力を育成します。
- 社会の成り立ちや人々の努力について理解を深め、「持続可能な社会」の実現に向けて考え、行動していくうえでの基礎を培うことができるようにしました。

2. 教育基本法との対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
全体		- 学習の問題をつくり見通しを立てる場面を丁寧に例示し、問題解決的な学習の進め方に対する理解を深めて自ら取り組むことができるようにしました。〈第1号〉 - 資料の読み取りにおいて、特に注目すべき視点や、複数の資料の比較や関連づけを児童の発言の形で例示し、「社会的な見方・考え方」を使った学習を意識して進めることができるようにしました。〈第1号〉	p.18-19, p.26-29, p.62-65, p.82-84, p.108-109, p.120-123, p.172-174, p.204-207 p.18-19, p.22-23, p.30-31, p.62-63, p.71, p.76-77, p.121, p.144-145, p.155, p.204-207, p.230 ほか多数
巻頭：前の学年をふり返ろう 社会科の見方や考え方 ノートで「学びのあしあと」を残そう 社会科の学習の進め方		- 前学年（第4学年）の代表的な学習場面を想起させるコーナーを設け、第5学年への接続がスムーズに図れるようにしました。〈第1号〉 「社会的な見方・考え方」を、児童の問いや発言の形で例示したコーナーを設け、それらの見方・考え方をを使った学習を意識して進めることができるようにしました。〈第1号〉 - 社会科の学習におけるノートの有効活用例を示し、対話的な学びや深い学びにつなげることができるようにしました。〈第1号〉	p.2 p.3 p.3
1 日本の国土とわたしたちの暮らし	1 日本の国土と世界の国々	国土の位置や領土について正しく把握するために、日本の東西南北端や排他的経済水域、北方領土、竹島、尖閣諸島の位置や現状について詳しく取り上げました。また、日章旗及び周辺国の国旗を取り上げ、国旗を大切にする態度や他国を尊重する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	p.12-16
	2 国土の気候と地形の特色	- 日本の美しい自然や伝統文化を象徴する世界遺産を取り上げ、我が国と郷土について誇りをもち、また大切にする態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉 - 太平洋戦争における沖縄戦の歴史について取り上げ、我が国や郷土を愛し、平和を希求していく態度を養えるようにしました。〈第5号〉	p.18-19, p.22-23, p.31, p.45 p.35
	3 自然条件と人々の暮らし	アイヌの人たちの歴史や文化の継承について取り上げ、国土の自然を生かし育まれた伝統や文化を尊重することの大切さに気づくことができるようにしました。〈第5号〉	p.45, p.56-57

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
2 未来を支える食料生産	1 米づくりのさかんな地域	- 食料生産に従事する人々を幅広く取り上げ、仕事の内容や工夫・努力、仕事に対する人々の思いなどについて学ぶことを通して、職業と生活との関わりに関心をもったり、勤労の意味や意義を考えたりすることができるようにしました。〈第2号〉 - 農業に従事する人々が、安全でおいしい米を多くの消費者に届けるために、無農薬や減農薬など、環境に配慮しながらさまざまな工夫や努力を重ねている事例を取り上げ、環境を守ることの大切さに気づくことができるようにしました。〈第4号〉	p.66-69, p.78-79, p.85, p.87, p.91など p.68-69
	2 水産業のさかんな地域	- 我が国固有の領土である北方領土に近い根室の水産業について取り上げ、領土問題とその解決に向けた努力の必要性について考えることができるようにしました。〈第5号〉 - 水産業に従事する人々が、質の高い魚介類を多くの消費者に安定して届けるために、環境に配慮しながらさまざまな工夫や努力を重ねている事例を取り上げ、水産資源や環境を守ることの大切さに気づくことができるようにしました。〈第4号〉	p.93 p.94-97, p.100-101
	3 これからの食料生産	- 豊作や豊漁を願う祭り、水田の果たす役割などについて取り上げ、食料生産と各地の生活や文化とのつながりを意識づけ、郷土の食料生産の大切さに気づくことができるようにしました。〈第5号〉 - 学習をまとめる場面で、生産者だけでなく消費者の立場でも考えることをノートの例や活動例で示し、国内の食料生産の発展と自分たち消費者との関わりについて、考えることができるようにしました。〈第3号〉	p.113 p.81, p.99, p.114-115
3 未来をつくり出す工業生産	1 自動車の生産にはげむ人々	工業生産に従事する人々を幅広く取り上げ、仕事の内容や工夫・努力、仕事に対する人々の思いなどについて学ぶことを通して、職業と生活との関わりに関心をもったり、勤労の意味や意義を考えたりすることができるようにしました。〈第2号〉	p.124-127, p.128, p.130, p.132-133, p.142, p.148, p.157, p.162-163など
	2 日本の工業生産と貿易・運輸	- 安全性、快適さ、環境、福祉など、世の中の様々なニーズに応えようとする自動車の開発・生産の事例を取り上げ、その中で働く人々の創造性について関心をもつことができるようにしました。〈第2号〉 - 障がいの有無や性別などのちがいににかかわらず、誰もが等しく使いやすい自動車を生産する努力、様々な人が働いている工場の様子を取り上げ、社会に暮らす様々な立場の人への配慮について考えることができるようにしました。〈第3号〉	p.132-135 p.134-135
	3 日本の工業生産の今と未来	世界に通用する技術をもつ国内の中小工場や、新たな分野を開拓しようとする国内の工業生産の事例を幅広く取り上げ、人々が働くなかで発揮される創造性の大切さなどを考えられるようにしました。〈第2号〉	p.162-165
4 未来とつながる情報	1 情報を伝える人々とわたしたち	- 情報を扱う仕事に従事する人々を幅広く取り上げ、仕事の内容や工夫・努力、仕事に対する人々の思いなどについて学ぶことを通して、職業と生活との関わりに関心をもったり、勤労の意味や意義を考えたりすることができるようにしました。〈第2号〉 - 自らの生活と情報との関わりを意識させる活動例や資料を多く提示し、各種メディアや情報通信技術を活用する主体として児童自らが考えることができるようにしました。〈第3号〉	p.175-179, p.184-185, p.188-191など p.170-174, p.179-183, p.187, p.188, p.195, p.197
	2 くらしと産業を変える情報通信技術	- マスメディア（放送局）で働く人の具体的な事例を通して、情報を伝えるうえでの責任について考え、正確な情報を発信することや広く情報を集めることの大切さに気づくことができるようにしました。〈第3号〉 - 情報通信技術や大量の情報を様々な分野・用途で活用しようとする事例を取り上げ、社会の発展や課題解決のために発揮される創造性の大切さなどを考えられるようにしました。〈第2号〉	p.178-183 p.190-193, p.194, p.198-201

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
5 国土の自然とともに生きる	1 自然災害とともに生きる	- 自然災害は完全に防げないことや、被害を減らすための取り組みなどを具体的に引き上げ、一人ひとりが自然災害とどのように向き合っていけばよいか、主体的に考えることができるようにしました。〈第3号〉 - 日本の美しい自然や伝統文化を象徴する世界遺産を引き上げ、我が国と郷土について誇りをもち、また大切にすることを養うことができるようにしました。〈第5号〉	p.212-215 p.218-219, p.228, p.240-241
	2 森林とともに生きる	- 森林の育成や活用に関わる人々の様子を学習したうえで、児童自らが協力できそうなことを考える場面を設け、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。〈第3号〉 - 人々の生活環境や健康に影響をもたらした過去の公害の事例を学習したうえで、人間や社会生活と自然環境とのつながりを図で表し、自らが自然の一部であることや、環境を守ることの大切さについて深く考えられるようにしました。〈第4号〉	p.226-229 p.237
	3 環境とともに守る	様々な立場の人々が公害防止や環境保全の取り組みに関わってきたことを図などに整理し、自分たちの関わりや、環境保全の取り組みを進めるうえで大切なことについて、主体的に考えることができるようにしました。〈第3号〉	p.238-239
	巻末：5年生の学習をふり返ろう	第5学年の1年間を通して学んだこと、学習技能、「社会的な見方・考え方」などをふり返るコーナーを設けて、学習した内容や学習に用いた視点を確かめながら、自ら主体的に学習に取り組んでいくための方法を身につけるとともに態度が養われるようにしました。〈第1号〉	p.242-243

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

◇ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇パラリンアート

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、各学年の巻頭（もくじ）では、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、印刷には再生可能エネルギーであるグリーン電力を使用し、地球環境への負荷の軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-89	小学校	社会科	社会	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 503	小学社会 5		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 問題解決的な学習に関わる特色

① 問題解決的な学習の進め方をわかりやすく例示

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。見通しをもって主体的に学習を進めていけるようにしています。

また、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくものであることも示唆しました。

② 一貫した追究を支える「問い」

単元を通して追究していく問いを「みんなでつくった学習問題」として明示しました。

学習問題の解決に向けた各単位時間の中心となる問いは、「この時間の問い」として明示しています。

みんなでつくった学習問題

気候や地形の特色と、人々のくらしや産業にはどのような関係があるのだろう。

▲p.27

?この時間の問い

沖縄県の観光は、あたたかい気候とどのような関係があるのだろう。

▲p.30

③ 学習問題をつくり、追究の見通しを立てる場面をていねいに例示

「社会的な事象と出会う→気づきや疑問を交流して学習問題をつくる→予想をする→調べること・調べ方の見通しを立てる」という一連の流れを、どの単元でもていねいに例示しています。

児童から引き出したい発言は、ふき出しで例示しています。例示に際しては、第5学年の発達段階を考慮した児童の思考の自然な流れを重視しています。

学習問題について予想して、学習計画を立てよう

予想をカードに書いて、似たものを分類してまとめるよう。

【学習問題】 本づくりに必要な地域では、人々がどのようなくふうや努力をして事業を生産しているのだろうか。

（予想）

- 一人がたくさんつくるのは大変だから、何人も協力して働いている。
- おいしい米の品種をさがしている。
- おいしい米の品種をさがしている。
- 本づくりにくふうや努力を家で行っている。
- 大きな機械を使って、一人にたくさん稼いでいる。

丸線や楕円の自然な流れが合っているの、できるだけ自然にまかせてつくろうにしている。

【自分の発見を整理】 家の近くの水田でも、機械を使って作業をしていた。

【これまでの学習を生かして】 図で使っている米の種類のたくさんあったね。米の品種にも、なにがみつがあるのかな。

【予想したことを確かめるためには、どのようなことを調べればよいのか、みんなで考えて学習計画を立てよう。】

【調べること】

- どのような本をつくらなければならないのか。
- 必要な作業・作業の順序・機械や道具・計画に書き加えよう。
- おいしい米をつくるために何をしているのか。
- 本づくりに必要な機械の使い方・品種・米づくりに使われているもの。
- 消費量と生産量の差。

【調べ方】

- ・教科書の資料集で、本づくりに必要なイラストを見る。
- ・インターネットで「農業」「本づくり」で検索する。
- ・家族や近所の人などに、農業の方に質問する。
- ・図鑑や、本づくりに必要な本を読む。
- ・近所の農業の方にインタビューする。

【調べるから、次の時間からは、この計画をもとに調べていこう。】

▲p.64-65

④ 問いをつなげて思考の深まりを促す「次につなげよう」

▶p.87

各見開きの末尾に「次につなげよう」を置いています。各時間の学習が、次の時間の中心となる問いに自然につながるようにしています。単元を通した追究の連続や思考の深まりを促します。

次につなげよう

加工工場で箱づめしたあと、さんまを店までどうやって運ぶのかな。



⑤ 追究の過程を、わかりやすく、ていねいに支援

問題を解決していくうえで必要な学習技能を「学びのてびき」として適宜、紹介しています。技能の活用を通して、「社会的な見方・考え方」を使った学習の意識化が図られるようにしています。

また、ポイントとなることばや概念を、「キーワード」として明示して、追究を促します。

キーワード

●貿易

解説 国と国との間で、品物を売り買いすること。売り出すのが輸出、買い入れるのが輸入です。

▶p.142



学びのてびき

別の立場で考え、話し合う

- ①「生産に関わる人」の立場から考えるグループと、「わたしたち消費者」の立場から考えるグループに分かれる。
- ②学習を通してわかったこと、使った資料をもとに、グループの中で考える。
- ③別の立場のグループとメンバーを半分入れかえ、それぞれのグループで出た意見を交流する。

▶p.114

▶p.166-167

⑥ 追究の帰結をしっかりと確かめる

小単元の末尾には「まとめる」を位置づけました。学習問題やキーワードを再掲して、学習をふり返ることができるようにしています。

調べてきたことを関係図などに整理し、それを見ながら対話的な学習を行うことを通して再構成や定着が図られ、深い学びにつながるようになっています。

⑦ 「社会的な見方・考え方」を使った学習を具体的に例示

資料を読み取る児童の発言例とともに、特に注目すべき視点や、複数の資料の比較・関連づけを明示しました。各単元末には、学習を通して使った「見方・考え方」のふり返りも明示しています。

▶p.204

▼p.196

見方や考え方をふり返る

情報通信技術を通じたさまざまなつながりや、くらしや産業の変化に注目して調べたね。



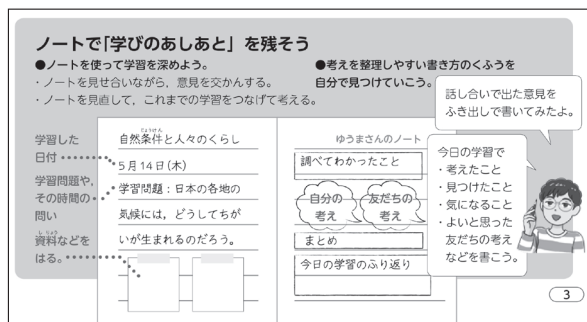
2 各単元の特徴

◇ 卷頭

- **前の学年をふり返ろう** 第4学年の社会科で学習した内容や技能、追究の方法をふり返り、第5学年の学習に生かしていくことを促します。(p.2)
- **社会科の見方や考え方** 社会的な見方・考え方を、子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設け、社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進められるようにしました。(p.3)
- **ノートで「学びのあしあと」を残そう** 社会科の学習におけるノートの有効活用例を示し、対話的な学びや深い学びにつなげることができるようにしました。(p.3)
- **社会科の学習の進め方** 問題解決的な学習の進め方を示した見取り図を掲載しました。(p.4-5)



▲p.3



▲p.3

1. 日本の国土とわたしたちの暮らし

- **我が国の領土をめぐる課題の正しい理解に向けて** 領土に関わり解決すべき課題を、国土の位置関係や現実の国際関係をふまえて正しく理解することができるように、より詳しく具体的に紹介しています。(p.14-16)
- **気候と地形の自然条件に関連づけて考える構成** 気候の特色と地形の特色をそれぞれとらえるだけではなく、標高差と気温差、山地と季節風など、国土の自然条件の特色を**総合的にとらえる**ことができるようにしました。(p.18-25) また、気候や地形の特色と、人々のくらしや産業とを**関連づけて考えやすい**資料を掲載しています。(p.26-55)

2. 未来を支える食料生産

- **国内の食料生産の発展をめざす取り組みを例示** 持続可能な農業や水産業に向けて、地域や世界全体で進められている様々な取り組みを紹介しています。これらの学習を根拠にして、国内の食料生産の発展について考えることができるようにしています。(p.78-79, 94-97, 112-113)



◀p.78



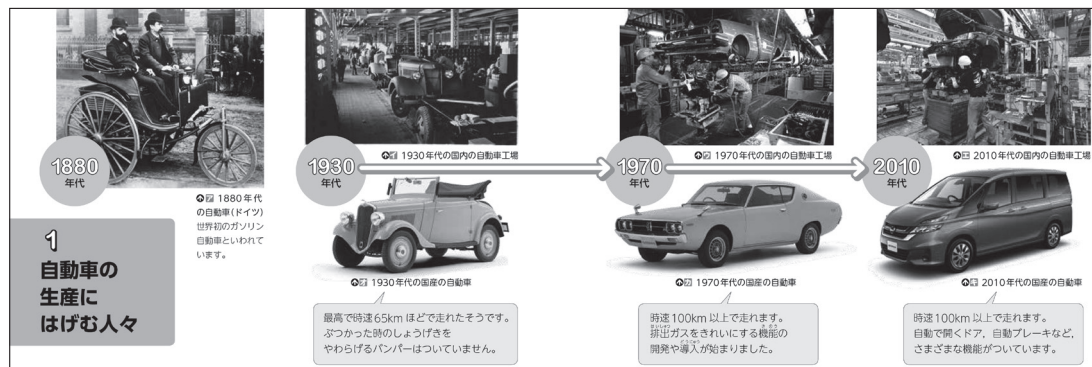
◀p.112

3. 未来をつくり出す工業生産

●日本の工業生産の発展をめざす取り組みを例示

工業製品の改良，自動車工場での生産の変化がわかる資料を導入に掲載し，工業生産の発展を意識しながら調べていくことができるようにしています。(p.119, 120-121)

また，安全性，環境，福祉など，世の中の様々なニーズに応える工業製品の開発・生産の事例を幅広く紹介しています。これらの学習を根拠として，日本の工業生産の発展について考えることができるようにしています。(p.132-135, 162-165)



▲p.120-121

4. 未来とつながる情報

- 具体的に調べるための活動例や資料の提示 自らの生活と情報との関わりを意識づける活動例や資料を多く提示し，各種メディアや情報通信技術を活用する主体として児童自らが考えることができるようにしました。(p.170-174, 179-183, 187, 188, 195, 197)

- 情報を活用して発展する産業は，主として「販売」「観光」を例示 学習指導要領に示された選択肢の中から，販売（チェーン店での販売情報分析）と観光（観光振興につなげるための情報活用）の事例を詳しく取り上げたほか，運輸，医療，福祉についても選択教材を掲載し，社会の様々な分野・場面で情報活用が進んでいることをとらえられるようにしました。

(販売 p.188-，観光 p.192-，医療・福祉 p.198-，運輸 p.200)



◀p.190

5. 国土の自然とともに生きる

- **正しい理解に基づく防災意識の高まりを重視** 東日本大震災などこれまでの災害を教訓とした事例を紹介し、自然災害は完全に防げないことや、減災という考え方について捉えたうえで、一人ひとりが自然災害とどのように向き合っていけばよいか、主体的に考えることができるようにしました。(p.206-207, 209, 211, 213-215)
- **森林保全のためにできることを選択・判断** 森林の育成や活用に関わる人々の様子を学習したうえで、児童自らが協力できそうなことを考える場面を設け、主体的な社会参画に向けて関心や意欲を高めることができるようにしました。(p.228-229)
- **環境保全のために大切なことを選択・判断** 公害防止や環境保全の取り組みに様々な立場の人々が関わってきたことを学習したうえで、児童自らが関われること、環境保全の取り組みを進めるうえで大切なことについて、主体的に考えることができるようにしました。(p.238-239)

2. 対照表

教科書（第5学年）の単元構成	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 日本の国土とわたしたちの暮らし	(1)		19
1 日本の国土と世界の国々	ア (ア), ア (ウ), イ (ア)	p.6-17	⑥
2 国土の気候と地形の特色	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.18-25	④
3 自然条件と人々の暮らし	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.26-55	⑨
2 未来を支える食料生産	(2)		26
1 米づくりのさかんな地域	ア (ア), ア (イ), ア (ウ), イ (ア), イ (イ)	p.58-81	⑫
2 水産業のさかんな地域	ア (ア), ア (イ), ア (ウ), イ (ア), イ (イ)	p.82-99, p.102-107	⑨
3 これからの食料生産	ア (ア), ア (ウ), イ (ア)	p.108-115	⑤
3 未来をつくり出す工業生産	(3)		24
1 自動車の生産にはげむ人々	ア (ア), ア (イ), ア (エ), イ (ア), イ (イ)	p.118-141	⑩
2 日本の工業生産と貿易・運輸	ア (ウ), ア (エ), イ (ウ)	p.142-151	⑤
3 日本の工業生産の今と未来	ア (ア), ア (イ), ア (エ), イ (ア), イ (イ)	p.152-167	⑨
4 未来とつながる情報	(4)		13
1 情報を伝える人々とわたしたち	ア (ア), ア (ウ), イ (ア)	p.170-185	⑦
2 暮らしと産業を変える情報通信技術	ア (イ), ア (ウ), イ (イ)	p.186-200	⑥
5 国土の自然とともに生きる	(5)		18
1 自然災害とともに生きる	ア (ア), ア (エ), イ (ア)	p.202-215	⑦
2 森林とともに生きる	ア (イ), ア (エ), イ (イ)	p.216-229	⑥
3 環境をともに守る	ア (ウ), ア (エ), イ (ウ)	p.230-239	⑤
計			100